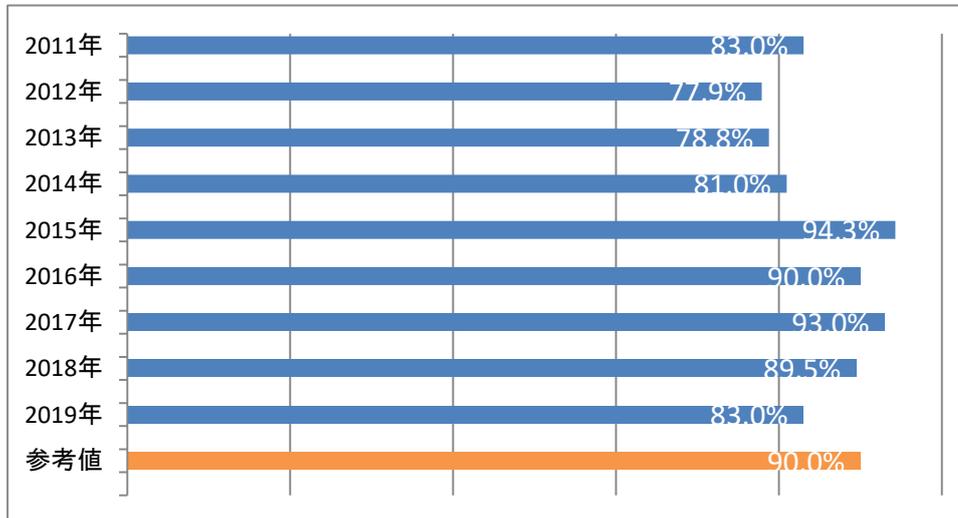


1.7 在宅復帰率（亜急性期・地域包括ケア）

分子：亜急性期・地域包括ケア在宅復帰患者数

分母：亜急性期・地域包括ケア退院・転棟患者数（死亡退院患者数除外）

2011年10月亜急性期病床を導入、2014年5月地域包括ケア病床に変換・増床、2015年8月東病棟全体を地域包括ケア病棟と変換してきました。いずれも在宅復帰率は算定要件となっています。現在は、60日以内70%以上と定められています。平成30年度入院医療等の調査では、70%を大きく上回る医療機関が多数で85%以上90%未満が最も多く、続いて90%以上95%未満が多いという結果が公表されています。



在宅復帰率（療養病棟）

分子：療養病棟在宅復帰患者数

分母：療養病棟退院・転棟患者数（死亡退院患者数除外）

療養病棟在宅復帰率は、より高い数値が望ましいですが、病院機能によって異なりますので、他医療機関と比べる時には注意が必要です。2018年度日本病院会 QIPプロジェクト結果報告では 平均値 73.4%でした。在宅とは、居宅、介護老人保健施設、介護老人福祉施設、その他グループホームを含みます。

